

# 新退教通信

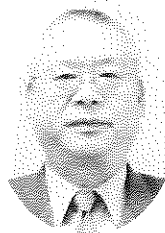
No.195

2025.3.1

新 退 職 員 連 絡 協 議 会  
教 職 員 連 絡 協 議 会  
〒Fax 025-281-8146

## 微力だけれど

## 無力ではない



新退教副会長

吉田 教 悟

昨年の暮れ、清水寺管長から、令和六年の漢字一文字が発表されました。あまりにも達筆で私には読めませんでした、「金」という漢字でした。

言われてみればなるほどと納得がいきまず。思い出してください。パリ五輪での日本人選手のメダルラッシュです。体操競技や柔道競技、陸上女子やり投げなど強く記憶に残っています。次に浮かんだのは、大リーグドジャースの大谷選手の大活躍です。ファイファイフイフイの記録達成は、正に金メダルに、いやそれ以上に値するでしょう。新潟県人としては、何といっても佐渡の世界遺産登録の実

現でしょう。登録以降、佐渡への旅行者が急増とか。一方、近年、佐渡への修学旅行が減っているの聞きます。佐渡には、見るもの、体験するものも多くあります。現職の方には、一考をお願いしたいものです。

私の中で「金」と言えば、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞の受賞をあげたいと思います。広島・長崎での被爆者が自らの体験をもとに、「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ、ノーモアウオー」と声を振り絞って世界の各所で平和を訴え続けてきました。しかし、日本政府は、この声に真摯に耳を傾けてはいません。

受賞式には、女子高生平和大使も参加していました。彼女等は「私たちの活動は微力だけれど、無力ではない」と胸を張っていました。はつとさせられました。

戦後日教組が結成され、朝鮮戦争が勃発するや、私たちは若者を戦場に駆り立てた責任を痛烈に反省し、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンを高らかに掲げ、反戦平和の活動を地道にやってきましたではありませんか。今、世界のあちこちで悲しい戦争が行われ、核の使用をちらつかせる国がある現実をしっかりと見据え、私たちも「微力だけれど、無力ではない」との自信を持って平和を求める活動を進めていきたいものです。

### 目 次

(敬称略)

1p 巻頭言

副会長

吉田 教悟

2p 支部代表者会 概要

3p 現退交流会

4p 支部からのたより①

新潟支部

藤村 修

糸魚川支部

野上 正和

柏刈支部

小林 公一

5p 支部からのたより②

佐渡支部

本間 辰彦

中魚支部

宮澤ハルエ

6p 研修報告「関東大震災」

みんなの広場

(高橋初敏他)

7p 日退教通信新年号

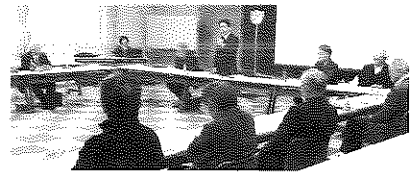


写真「二人の塞ノ神」

齋須 喬さん (西蒲燕支部)

## 支部代表者会

12月16日午前中に「支部代表者会」が開催されました。開催の趣旨は、「新退教本部の中間決算を行い、活動の中での悩みや方策を協議する」でした。来年度は役員交代の年度のため、役員選考委員会が開催されました。



### 〈会長あいさつ〉

支部ごとの活動に感謝します。衆議院選挙で退職した立場を活用した支部があり大変良かったです。来年度は役員交代の年です。役員意向を確認しているところです。

### 〈議長挨拶と進行〉

北魚支部の小林謙一支部長が議長に就任しました。事務局からの中間報告後、支部の組織運営についての協議を進めました。

### 〈議事内容〉

参加した支部からは支部ごとの現状が発表されました。当日は、雪と波浪警報が出ていたため、参加できない支部がありました。



新潟	組織体制が大代わりした。加入促進はチラシ等を配布して行っている。
長岡	様々な行事を行い、分担して運営している。再任用に声かけしている。

### それ以外の話題

- ・ 定年延長で、退職者が1年おきとなっている。
- ・ 再任用制度が出てきたため、区別がなくなり、声かけがなっている。
- ・ 活動は楽しくできているが、組織拡大につながらない。



三南	北新	新潟五泉	西蒲燕	北魚	南魚	中魚	上越	糸魚川	岩船
体験活動をしている。加入者がいない。80才過ぎても会員でいてくれる。	支部の研修旅行（佐渡、粟島）、コンサートを実施。一般退職者が入らない。	交流会で趣味の輪を広げている。ライフプランセミナーを実施している。	加入促進で他団体と連携している。役員で分担して加入の声かけをしている。	会員が減少している。以前の加入の仕方では加入してくれない。若手に期待している。	バス旅行の復活で会員が喜んでくれた。なかなか輪が広がらない。	会員の喜ぶ会を運営している。2年目を過ぎると入会しない。	12月から加入促進の取組をしている。教育会館が売却となった。	若い人から入ってもらい始めた。1日でなく半日行事に組み替えた。	組織の立て直しが必要。講演会が好評だった。会費の値上げが必要である。

## 役員選考委員会

役員は2年任期です。そのため、役選のある年と無い年が交互にやってきました。定年延長で役員年齢が高齢化しています。また、最近では、女性役員の増員が全国的に話題になっています。

### 〈地区代表者会議〉

役員選挙の申し送り事項と今後の流れを全体で確認した後、上越・中越・下越に分かれて、各地区から2名ずつの役員選考委員を決めました。



### 〈役員選考委員会議〉

選出された6名の委員と会長・事務局長で、役員選考委員会の正副委員長を決定しました。本部役員の任期と役員意思確認を進め、交代する可能性の高い役職の候補者の選考を確認しました。

### 〈役員選考委員〉

	氏名	支部
正	小池 洋	上越
副	土田 博	三南
	森 弘 志	下越
	磯 谷 正 芳	糸魚川
	小林 謙 一	北魚
	佐々木 均	新潟五泉

### 〈今後の役員選考の日程〉

1月末	役員選考①
2月中	役員選考②
3月中	役員選考作業終了
4月中	(議案書策定)
5月	総会で選考委員会報告

# 現役員交流会

12月16日午後、「支部代表者会」が開催されました。



## 〈今井淳執行委員長〉

2024年7月の選挙では、新教組の推薦する候補者5名の全員当選しました。投票率が下がっているのが気になります。18才と19才の新成人の投票率が伸びていません。学校の影響力の無くなった19才の投票率が下がる傾向があります。

学校現場においては、34年ぶりに賃金アップがなされました。働き方改革は進んでいません。週22時間の超勤は月88時間と過労死ラインを超えています。県内の欠員状況も改善していません。12月1日時点で教員の欠員が県段階で60人・(小47人、中13人)新潟市は10名(小6人、中4人)という状況にあります。

## 〈要求実現に向けての取組〉

政治を取り巻く状況として、今井委員長から全国の政治を取り巻く情報の報告がありました。

日教組の梶原貴委員長によるビデオを視聴し、給特法や教職員の待遇改善の際に、教職員出身の議員がいないと説明できないことがあることを知らされました。

学校現場で教育委員会から「政治的中立」の通達が出ています。要求実現の取組のために、政治活動は大切ですが、「投票に行く」という参政権を大切にする必要があります。投票率が下がっている今、改めて「投票に行く教職員」を増やすことが大切なのかも知れません。

## 〈各支部の選挙の様子〉



- 選挙チラシを見る程度である。ある地区の立憲の支持が強かった。
- 町内会での自民党の縛りが多く、なかなか動けない。
- 何もしていない。選挙区エリアが支部内で分かれたため、動けない。
- 昔からの協定で、選挙運動はできず、見守っているだけである。
- 政治にかかわらない雰囲気がある。新退教としての動きはなかった。
- 自民党候補が無所属となったため、選挙は反自民で動いていた。
- 退職連が動いていた。新退教としては動いていない。
- 地元の縛りがあるので、動きにくい状況である。
- 具体的に動いていない。候補を立てない党があったため、立憲の票が伸びた。
- 政治にかかわらない雰囲気がある。お金と酒の戦いだっただ。
- 自民の基盤である。ハガキ戦だった。積極的に候補者と握手した。

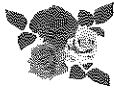
※取組が地域事情を含んでいるので、支部名は無記名とします

# 〈新教組旗開き〉

1月11日 新教組旗開きが東映ホテルで行われました。佐藤俊介書記長の進行で、今井淳執行委員長挨拶、来賓・国会議員の挨拶、歓談、抽選会と続き、石津真澄副執行委員長の閉会の挨拶、そして最後に、今井委員長の団結ガンバローで閉められました。

## 〈来賓〉 敬称略

- |             |       |
|-------------|-------|
| 連合新潟会長      | 小林 俊夫 |
| 新高教組委員長     | 遠藤 丞  |
| 県平和センター議長   | 登坂 崇規 |
| 自治労新潟県本部書記長 | 伊藤 桂一 |
| 県職労執行委員長    | 太田 辰雄 |
| 日政連参議院議     | 水岡 俊一 |
|             | 坂本 竜士 |
| 衆議院議員       | 西村智奈美 |
| 衆議院議員       | 菊田真紀子 |
| 衆議院議員       | 黒岩 宇洋 |
| 衆議院議員       | 米山 隆一 |
| 参議院議員       | 打越さくら |
| 日政連新潟市議会議員  | 青木 学  |
| 日政連新潟市議会議員  | 竹内 功  |
| 日政連新潟市議会議員  | 石附 幸子 |
| 日政連佐渡市議会議員  | 荒井 眞理 |
| 日政連小千谷市議会議員 | 長谷川有理 |
| 日政連十日町市議会議員 | 滝沢 貞親 |
| 新退教他20名     |       |



## 支部からのたより



### はるかなゴールをめざして



新潟市支部 支部長  
藤村 修

昨年10月に、本部「学びの集い」で、私の独唱を皆さんに聴いていただいた。古希のジイサンの歌など、果して喜んでくださるのか心配だったが、たくさん温かな拍手をいただくことができ、幸せだった。

大学生の時に混声合唱団に入ってから、50年も歌い続けているが、まだまだ納得

### わがまちでの研修



糸魚川支部 事務局長  
野上 正和

糸魚川市は、自然と歴史に囲まれ、全国的に有名になった『糸魚川大火』の街でもあります。また、国や県の石にも指定された翡翠の産地で、日本で最初に世界ジオパークに認定された『石のまち』でもあります。

そこで、当支部では、「わが街再発見」

の行く表現ができない。今でも、毎月一回プロのオペラ歌手を東京から招き、個人レッスンを受けている。「このフレーズはこう歌いたい」という思いはあるが、どう表現したら良いのか、迷い学びながら一歩一歩前へ進んでいくというのが正解である。

今年も、4〜6月に3回独唱の機会をいただいた。こんなジイサンにオファーをいただけたことに感謝して、はるかかなたのゴールをめざして、精進して行こうと思う。

と題して2年連続で研修にわがまちを学ぶ機会を設定しました。昨年度は市の担当職員を講師に大火の現況と復興の足跡をコーヒーとケーキ付きでレクチャーを受けました。本年度は「石と歴史の街」をテーマに、参加者全員でジオパークガイド解説の石の博物館見学と学芸員の説明での歴史考古館見学か化石探しの希望者に分れての研修でした。

他支部の皆さんも機会があれば是非おいで下さい。お待ちしております。

### 支部活動の活発化



柏崎刈羽支部 事務局長  
小林 公一

柏崎刈羽支部は、賛助会員（85歳以上）を含め総勢230名弱の組織となります。当支部は、楽しくそして生き甲斐のある活動を目指しています。

今年度は、新たな事業として「ボウリングを楽しむ会」を立ち上げました。

「体を動かしていつまでも若く元気でいるために」を基本に会員10名の参加で有意義な汗を流しました。

また、定例の活動として県内の親睦バス旅行「柏刈学ぼう会」を行っています。今年度は、新発田の蔵春閣見学とフルーツ狩りを中心に楽しいバス旅行を実施しました。コロナ禍で、しばらく旅行を控えていましたが、5年ぶりに実施してみても、参加者の皆さんが有意義に楽しく旅行ができたことが、事務局として良かったと思っています。参加人数は少ないですが、これを機に少しでも参加者が増えることを願っています。

### 佐渡へ佐渡へと草木もなびく



佐渡支部 支部長  
本間 辰彦

朱鷺の佐渡。金山が世界文化遺産に登録されました。高校時代の恩師が50余年前から主張していたことが実現したことに感動しています。しかし、韓国の反対は根強いものがありました。わが国は江戸時代の「手堀」を強調していました。昭和時代、

増産のため半島から人手を集めた事実はあるけれどもそれは設定外でした。そこを相手は納得しません。中国や韓国にしてみればかつて文化文明を自国から習得した日本がいつの間にか欧米並みに植民地政策を強いた歴史を念頭に悪感情が納まらないからです。この軋轢はこの後どうなるのでしょうか。解決する手法は民間外交しかないとは考えます。政治に翻弄されず、庶民同士で仲良くできたらと思うのです。

### 老人介護を支える若者たちに力を



中魚支部 副支部長  
宮 澤 ハルエ

昨年春から、近くの介護施設で働く東南アジア出身の若者に日本語を教えている。国では一応日本語を学んできたというが、実際の現場では学んだはずの日本語が全くというほど通じないことに愕然としたらしい。何しろ入所しているほとんどの人が、第二日本語？というべき方言しかしゃべら

ないのだ。という訳で、しばらくは「妻有弁講座」が中心だったが、夏をすぎる頃からようやく普通の日本語指導ができるようになった。そして12月。彼らに更なる試練が待っていた。「雪と寒さ」だ。南国育ちの彼らにとって想像を絶するものだったに違いない。日本で介護士の資格を取るには大きな壁が待ち受けているだろうが、それを乗り越えるよう応援したいと思う。何しろこれらの日本の老人介護を支えてくれるのは彼らだから。

### 支部事務局長会議

3月10日（月）に、新退教支部事務局会議が開催予定です。各地区事務局長からは、組織の高齢化と退職教職員の加入停滞の課題を出してもらう予定です。特にコロナ禍以降、退職教職員の「絆」が薄れ、組織加入に対する意識低下が問題になってきています。

各支部ごとに様々な活動をしています。研修旅行や懇親会を行っています。是非、各地区の活動に参加してみませんか。



### ライフプランセミナー報告

2月22日（土）に新潟市内3カ所で「退職者のためのライフプランセミナー」を開催しました。昨年は、新潟秋葉区を中心に開催しましたが、今年度は、61才が定年退職者対象になっているため、新潟市内にセミナーエリアを拡大しました。

65才定年が完結するまで、再任用等の対応が不明確になっています。関係者同士での連携の輪を作って行きたいと考えております。



# 研修報告「関東大震災100年」を考える

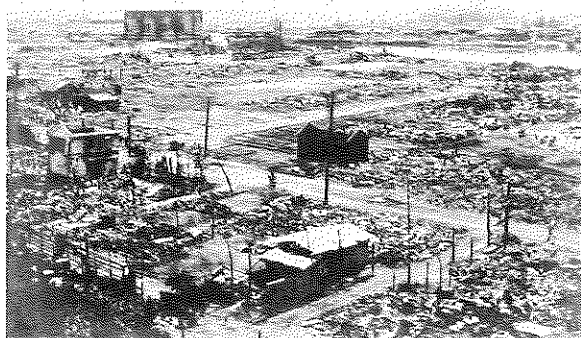
1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災は、2022年で100年目を迎えました。「防災」を考える取組が関東を中心に各地で行われました。日退教は、関東大震災を史実に基づいて、「関東大震災時の朝鮮人虐殺」について、日教組・全国退女教、教職員共済、相互共済と五者合同学習会を2023年10月12日に学習会を行いました。講師に、専修大学教授の田中正敬子氏を招いて、演題「関東大震災時の朝鮮人虐殺はいつどこで起こったのか」の講演会を行いました。（新退教事務局から1名が参加）

中学校現場では、社会科の時間に関東大震災を扱う際に、検定教科書を使って、授業をすることになります。2011年中学校歴史教科書には「混乱の中、朝鮮人や社会主義者が暴動を起こすという流言が広がり、多くの朝鮮人、中国人、社会主義者などが殺されました」と書かれています。講師から3つの疑問点が投げかけられました。

3つの疑問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未曾有の地震だったため、事件が起きてもしょうがなかったのか。</li> <li>・ ちゃんと調べたのか。</li> <li>・ 誰が殺したのか。責任は誰がとったのか。</li> </ul>
-------	---

国立図書館にある資料には、9月1日に地震が起こり、流言が東京付近で広まり、内閣府が近隣の郡町村長に9月2日に連絡を送り、9月3日に各地方長官へ打電がなされました。それを基に東京周辺地域から自警団が結成され、根拠のない基準で朝鮮人等の虐殺がなされました。資料によると、9月3日には244名、9月5日には512名の人が殺されたと記載があります。地震の被害が少なかったところで、虐殺が起こったことが記録されています。

2023年5月23日の内閣委員会で、参議院議員の杉尾秀哉さんが「関東大震災100年に当たり、虐殺の事実確認と責任について、質問をしたところ、「政府は当時の資料を持っていない」として責任の所在を不明確にしました。このことは、時として真実が捻じ曲げられ、間違った判断がなされる場合があります。退職してからも何が正しいのかを判断できる視点をもっていたいものです。二度とこのような悲しい出来事を起こさないために、具体的な行動はできなくても、誤った行動をしない判断力を持っていたいものです。



## 教職員の要望は「日政連議員」に

多忙解消・教職員の給料体制など教職員でないとわからないことがたくさんあります。新退教は、働きやすい職場づくりをめざしている新潟県教職員組合とともに、日政連議員から、国会・県議会そして市町村議会に要求をぶつけます。

退職してからも、学校現場が働きやすい職場になって欲しいと願い、応援していきませんか。一人一人の一票が



集まれば、大きな力となります。

## 選挙・投票に行きませんか

政治について、詳しい人もそうでない人もいます。一番大切なことは、投票することです。最近、教職員関係者の投票率が下がってきているといわれています。投票日に予定がある人も、期日前投票を利用すれば、投票できます。

18才と19才の投票率も下がっています。大学等で親元を離れると選挙に行かない人が増えます。近くに該当者がいたら、声をかけませんか。



# みんなの広場

## 全県車中泊 能登「道の駅食彩市場」

高橋 初敏

私は、車中泊をしながら知らない土地をドライブして廻るのが好きだ。

「海道をたどっての日本一周」は終えた。今は、二周目に入っている。二周目は、「海道」にこだわらず、「全県車中泊」を目標にしてみた。

まずは、石川県の能登からだ。輪島の復旧がなかなか進まず、部外者から立ち入るのも迷惑になると思い、七尾の「道の駅食彩市場」にした。能登半島を一望でき、魚介を堪能できる道の駅だ。被災後10ヶ月、施設は動いていた。ただ、建物の基礎と回りのコンクリートに段差や亀裂があり、食堂街は以前の出店数の半分もない。そして暗い。観光船の乗り場は、コンクリートが波打ったままで、立ち入り禁止になっている。写真を撮る気にならない。

土産物店は、以前のように賑わっている。土産物用の紙袋をいくつも抱えている初老のご夫婦も散見される。人の心は温かい。金沢市の中学生という一団が現地学習なのか、楽しそうな雰囲気の中でも、時に深刻そうな面もちで休憩している。

私は、能登特産の「いしり（イカの腑と塩だけで作る醤油）」を20本買った。知人と友人に協力してもらい、能登の復興に少しでも



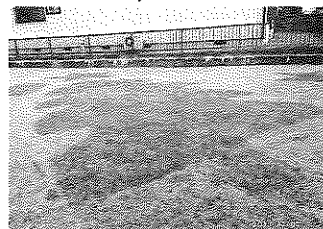
協力しようと思ったからだ。魚介を肴に車中泊。後日「いしり」は完売できた。ありがたい。売上金を元に今年も能登に行こう。

## 「芝」から「苔」へそして…①

ペンネーム 新潟市の背くらべ  
父親の小さい畑があった。高齢とともに、草が生え、荒れ野原状態となった。その父親も亡くなり、畑を芝生に変えた。

芝に水をやり、月1〜2回程度芝刈りをした。ちょうど良い運動になった。

2〜3数年たった晩秋、芝に「クリスマスツリー」等の形を残して芝を刈ると、長い芝が茶色、刈り込んだ芝がうす茶になり、芝アトが完成した。



## 事務局からのお願い

新退教通信は、現在、「1面の会員の写真」「最終面のみんなの広場」を載せています。親しまれる新退教通信にするため、掲載する会員の作品を下記の内容で、募集します。載せたい方は、本部事務局（月水金10時〜16時勤務）にお電話ください。申込用紙をお送りします。なお、提出した写真については、返却します。

- ① 写真（風景、人物、芸術作品の写真：書、工芸品、縫い物等）
- ② エピソード（自由文20字×10行：旅行記、人との関わり等）
- ③ 文芸（俳句など。各支部の活動と連携を予定）

住所：新潟市中央区新光町7-4  
電話/FAX：025-281-8146

〈広告〉

教職員共済組合員のための

# マイページができました!

教職員共済 マイページ

検索

<https://www.kyousyokuin.or.jp/kumiai.html>



## LINE公式アカウントも できました!



お友だち登録は  
こちらから



厚生労働省認可

### 教職員共済生活協同組合

〒162-8624 東京都新宿区山吹町10-1 ラポール日教済

# つながりを大切に、運動を積み上げよう

## 日本退職教職員通信

No. 417

2025.1

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋二一六一二 日本教育会館6F  
発行責任者 竹田 邦明  
TEL 03(5555)2197 FAX 03(5555)2051  
E-mail nitaikyo@gmail.com 〒475-0001 http://www.nitaikyo.com



### 年頭にあたって

日本退職教職員協議会会長

竹田邦明

能登半島地震・豪雨に見舞われ、未だ復旧ならず厳しい生活を余儀なくされたまま、新年を迎えざるを得なかった会員のみなさまに心からお見舞い申し上げます。戦後80年、被爆80年の節目の年

幸い、なことに、私たちはこの長い年月、戦争に直接巻き込まれることなく生きてこられました。反戦平和への思いを強く持つ多くの人たちのため運動の成果と言えます。しかし、世界に目を向ければ、なおも戦争や紛争が続きます。核の脅威が存在している現実があります。節目の年を、私たちが平和の尊さを再確認し、未来への責



水岡俊一 2025年挨拶  
しっかり議論する国会

あけましておめでとうございます。平和で人権が尊重され、誰もが生きやすい社会をつくるため、日々ご奮闘されておられる日退教会員のみなさまに、心より敬意を表します。

昨年の総選挙では、野党勢力が躍進し、与党が過半数割れとなりました。この結果により、国会では大きな変化が起きています。長年の問題である「給特法」にも動きがありそうです。

子育て政策、教育政策、雇用政策、社会保障政策など、「格差と分断」が生じている現在、全世代型の「支え合う」仕組みづくりが求められています。とくに教育は個人と社会をつなぐ重要な役割を担っています。教育を基盤とした支え合う社会を作りたいと思っています。

みなさまの声をぜひお聞かせください。しっかり議論する国会になるよう、とりくみを続けます。

日政連国会議員団会長  
参議院議員 水岡俊一

任を深く考える機会としなければなりません。平和の尊さを改めて次世代に繋ぐことが私たちの役割でもあります。核を巡る安全保障環境はむしろ悪化

日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。

受賞が発表された時に「夢の夢」と、ほおをつねって驚く広島県被団協理事長の姿とともに、横に座る高校生平和大使の喜ぶ姿が印象的でした。委員会は日本被団協を選んだ理由として、「いつの日か、歴史の証人である被爆者がいなくなる時が来る」としています。続く世代、さらに若い世代が運動を引き続けていくことが求められて

### 新年のごあいさつ

日本退職者連合 人見一夫 会長  
新年あけましておめでとうございます。



日退教会員の皆様には元気に新年を迎えられたことと思います。

昨年は秋田県退職教職員協議会のみなさまに秋田県退職者連合に加入をしていただきました。地域で連携を深め、運動していきたいと思っております。

新型コロナウイルスパンデミックから5年が経過して、コロナ感染も終息に向かいつつありますが第一にこの一年を乗り切ってください。

今年も健康第一です。参議院議員選挙の年です。連合組織内推薦候補の必勝を目指し、選挙の勝利を祈念して、皆様のご健勝、活躍を祈念して新年のあいさつとします。

「修正」可決となり、税・社会保険を一日も早く批准し、核兵器廃絶に向けてリーダーシップを発揮すべきです。

夏の参議院選挙で政治の様変わりを。昨秋の衆院選で与党自公は64議席を減らし215議席にとどまり、「政治の風景」が変わりました。昨年夏の補正予算も28年ぶりに、

仲間のつながりを。国立社会保障・人口問題研究所は、単独世帯の割合が2050年に44.3%になり、特に高齢層で増えると推計しています。医療や介護など高齢者の生活を支える体制作りが、より大きく求められますし、同時に「孤立」を防ぐことが必要です。仲間とのつながりを大切にして、運動を積み上げましょう。